

公民館報

公民館報 発行所 小須戸町公民館 発行日 毎月15日 発行部 15部 印刷所 昭栄堂印刷所

公民館活動は

このままでよいか

三市中浦公民館大会で討議

去る十一月二十六日、新津市民会館で開催、公民館・社会教育関係者約百名が参加。当町からは館長以下八名が出席し熱心に討議が行われた。

- 「豊かな余暇の活用と公民館の役割について」という大会主題に対し、まず県の広井太計夫社会教育主事から問題提起がありました。要約すると
- 1. 住民相互の接触の場
 - 2. 自発的学習をする場
 - 3. 情報と相談の場
 - 4. 他機関との提携の場
 - 5. 公民館の事業として望むもの
- 余暇について、自由時間をいかに有効に活用するかが今後の大きな問題である。
- そこに社会教育、特に公民館活動の重要な側面がある。
- 公民館とは、住民の日常生活に結びついた多目的で、総合的な社会教育センターである。

- (展覧会、発表会等)
- 1. 公民館の評価は部分的でなく、広範囲の立場から眺めなければならぬ。
 - 2. 以上の点が提起された。
 - 3. 続いてパネル討議に入り、「公民館の活動はこのままでよいか」というテーマで、一般社教・運営・公民館職員等の四人のパネルマンから各地域の実状や悩み



三市中浦公民館大会の模様

第三回 元旦マラソン開催

主催 体育協会

昭和五十年も元気に頑張りました。次の要項で町民元旦マラソン大会を行います。

- 参加規定 中学生以上。
- スタート 午前十時役場前
- コース 当日年別に説明
- 表彰規定 各コース一・三位まで入賞、全員に参加賞。

助言者の広井主事から、次のような指導がありました。

- 公民館について、もっと積極的なPRが必要。
- 住民の誰もが気軽に利用できるソフトな性格の館をつくらねばならない。
- 今後の分館活動については、施設設備、人的体制の面でも重視していく。

長寿大学案内

十二月後半より、一月前半までの、全体学習とクラブ活動計画です。

一月	一日(火) 園芸ク
	二日(水) 民舞ク
	三日(木) 全体学習
	四日(金) 町議会傍聴
	五日(土) 書道ク
	六日(日) 家庭科ク
	七日(月) 書道ク
	八日(火) 家庭科ク
	九日(水) 書道ク
	十日(木) 書道ク
	十一日(金) 民舞ク
	十二日(土) 民舞ク

長寿大学全体学習 高令者の健康生活は

去る十一月二十九日、武道館において、教育評論家の重野幸先生から、二時間わたる有益な講演をいただきました。

先生は、若い時から童話の先生として親しまれた先生として、またすぐれた教育実践家でもあり、昔、矢代田地区が県下の幼児の死亡率の高いことなど、足で調査された事があったと云う。

ユモアを混じえて、「高令者の諸問題」に対し密度の高い示唆をいただきました。

出席者数七十七名(喜字にあやかり目出たし)次にお話の要旨をのべ報告いたします。

長寿 平均寿命日本は男七十一、女七十六で世界二位というが、数字のいたずら、人口千人中七〇以上の人数でスウェーデンで六・五人で欧米なみに長寿国となるには三・四〇年はかかる。

食生活 調和のとれた食品で油分や野菜を忘れないよう。美しさと野菜不足は肝臓を傷め短命のもと。塩分の多用は禁物。特に冬季は少な



やつでのみつばち

いまい ゆうすけ

霜の降りた日の
たよりない冬の陽ざし
冬枯れの庭は
さび色に果て
ちやうも舞わない
豊かな彩も
かぐわしい香もない
白いハツ手の花
揺らぎもせず
みつばちが慕う
霜を見た日の
たよりないぬくもり
ハツ手を恋うて
ひそかに群れ
最後のみつを吸う
小春日和のみつばちあわれ

目。アルコールはほどほどに(一、二、五合を二時間位)働かすは短命に因る。高令者と再婚 再婚は高令者問題解決の一つで大切なこと。夫婦愛は親子の愛より強いともあり得る。温かく見守る周囲の思いやりこそ大切ではなからうか。

健康診断 早期発見、早期治療、老人健康診断率三〇%(強かりをいっている憶病者が多い)その他 高令者年金の増額運動、寝たきり老人対策、老人専門病院設置等々、多々あり。

恍惚防止 仕事や趣味に打ちこめる人はならない。「その節はよろしくたのむせ」元氣なうちから



冬冬の交通事故 十二月十一日から一月十日まで、冬の交通事故防止運動を行い、合せて強力な取締りを行います。この運動の重点は、一、飲酒運転の防止。車を運転する人は酒を飲まない、飲ませない、必ず守ってください。二、歩行者事故の防止。道路への飛び出し、酔っ払い、歩行者事故の原因となり。三、スリップ事故の防止。降雪・凍結時には、スノータイヤ・チェーン等を必ず付けてください。また、スノータイヤは前後軸に全部取り付けられないと違反になります。

年末年始の 防犯について

いよいよ今年も残すところわずかとなりました。年末年始になると、家財を留守にしたり、多額の現金を取扱う機会が多くなり、あわただしい日々が続きます。また飲酒の機会も多くなることなどから、ドロボウや暴力の被害を受けるスキができていくようになります。次の点にご注意のうえ、みんなで協力して明るい年の瀬を送り、新しい年を迎えましょう。

①現金の保管を確実に。必要以外の現金を家に置いたり、待ち歩きはしない。

②自動車盗を防止しよう

江村春暉、熊野塚田さんの画は町でも、かなり所蔵されています。所蔵(一八四四)年間に越佐人物誌や、北越蓬魚などの本に画入として採録されている沙門一空(雲涯)中村橋谷(吉田鶴翁、吉岡剛塘(俊山)等の人の作品は、年代が浅いにもかかわらずなかなか発見ができません。非常に残念なことと思つた。たとえ大火があつたとしても、どこかの土蔵の中に埋もれているような気がいたします。

有名大家のものより地元のものだこれらの人達の作品を発掘したいのです。

たまたま横川浜の浄土真宗西本願寺派長法寺さんの什物を調査中、中村道成の画を発見して大変驚くことになりました。寄進者は八兵衛、染物師某、壘一枚位でしよ。うか布地に蓮華の花を描いた大作で、無量寿経さんだらの裏掛として寄進されたようです。この人は純粋の小須戸画人で中村耕作、道成、揚斎、栲谷などと称しています。寄進者の八兵衛という人は中村貞一氏の先祖で長沢屋八兵衛といひます。この人のごとで思ひます。これは、故中村晴峰先生が、白根登巻の祝神電が八兵衛さんの婿だといひ話してされたことがありません。

混雑した場所では、スリが狙っています。①少年を非行から守るために。お正月は職場も学校も休みになります。放任や甘やかし過ぎは少年を不幸に追い込みます。小須戸幹部派出所

公給領収証を忘れずに

交付・受領強調月間

料理飲食等消費金は免税。税金が免税点を超えたら、(遊興を伴わない場合)飲食店 一人一回の料金が二、一〇〇円まで。旅館 一人一泊の料金が二、四〇〇円まで。宿泊料以外料金一人一回一、二〇〇円まで。仕出し、出前。一人前の料金が一、二〇〇円まで。

新津財務事務所

以上三点に、特に注意をして、事故のないよう気を付けましょう。多忙の年末を、希望の多い年始を無事故で過ごすために、家族ぐるみで交通事故防止運動に参加してください。

文人あれこれ

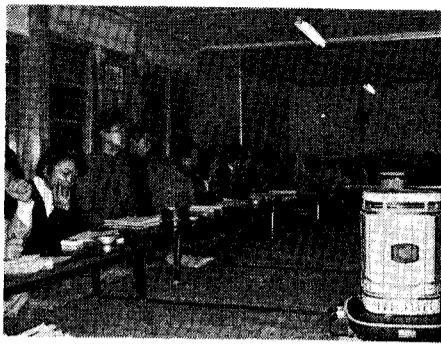
柏 大治

祝神電は有名な大学で白根登巻、長福寺住職開書の弟で法天、字を枕雪齋などと号して、寺の隣地に傳学館をたて、つねに数百人の子弟を教育しました。また沢山の著書もあつた。なかでも有名な「天保八年に発行した「救荒探之杖」は天保四年以来の奥州越の天保「きん」の惨状をくわしく記して学界にもみとめられ、いまでも貴重な資料とされています。数年前新潟県立図書館から、この珍本を借り、写しとったことがあります。犬や猫もたべつし、小判をつんで、餓死しているの、加茂方面の農民が領主に差しあげる米俵を積んで餓死している惨状や、のますくわに二十一日間生きる方法などいろいろ珍しい事が書かれています。常に飢きんにそなへ餓動蓄積を提唱しています。ことに小須戸の八兵衛さんは飢きんにそなへ餓動蓄積されていると大変はめています。神電と八兵衛さんの親子関係がわかって面白く思ひます。白樹園記五冊これは矢代田の庄屋本多内蔵の著書でまだ世に紹介されておられません。幕末資料としては貴重のもので、新大助教授の故児玉彰三郎氏がいはやく学生数人をつれて写真に写しとって行きました。教育関係者は散逸を防止、保存の義務があります。峰は五山の誤植)

静岡の青年会来町 小須戸連青と交歓研修

川根町青年協議会の代表二十三名が、さる十一月二十三日、一泊二日の日程で町連青青年団と交歓研修会を行った。川根青協では例年県外研修を行っており、今年には佐渡・小須戸のコースで本県入りした。

一行は二十三日朝、佐渡を出発して、午後三時十分、新津駅へ到着し、十八分にマイクロスコープで、小須戸町民体育館・花木センター・役場・建設中の社会教育センターを見学した後、宿の老人憩いの家に着いた。



一行は二十三日朝、佐渡を出発して、午後三時十分、新津駅へ到着し、十八分にマイクロスコープで、小須戸町民体育館・花木センター・役場・建設中の社会教育センターを見学した後、宿の老人憩いの家に着いた。

さっそく、町連青青年団・青年協議会と交歓会を行った。まず、町長・教育長・公民館長の歓迎あいさつを受け、次に両青年会の現状報告、質疑応答を行った。

分設会では、現代社会における青年の役割と、今後の課題・組織強化等について話し合った。地域性の違いが大きいにもかかわらず、互いに実情報告と質疑応答があり、お互いの長所、短所に感心したり、反省したりしていた。

郡青研

小須戸町で開催 さる十二月七日・八日小須戸町公民館において中須原郡青年問題研究会が行われた。テーマは「青年団とグループ・サークル」で、多目的の青年団と、単一的な青年団と、どちらが、かつての道路では見たこともないほどの大きなぬかるみを作ってしまった。通学通園の子どもしながら大雪に大変困惑しながら大雪装置を有難迷惑そうに、にらんでいる様子が思い出されます。

なぎさ

消雪パイプの活躍に期待して

五番町 雪 男

今町にわたる道路の舗装化が進み、とてもよくなりました。このような町民の願いに對して、拍手を送りたい気持ちでいっぱいでありたい。今年も思いがけなく早くに降った雪に驚くと共に、年を追って伸びつつある消雪パイプの偉力を発揮するよう願って止みません。消雪パイプは降り積もった雪を消すのではなく、降ってくる一瞬の間に雪を消すという点に留意しながら動作させてこそ、高い価値があるのではないのでしょうか。そのためには、路面が

目的のグループ等の比較により、新しい活路を見いだすための研修会を、七日午後七時に開会式を行い、フィルム・フオリラムや懇談会、レクリエーションを行って一泊二日、全体会でのまとめでは「社会的な活動や地域住民にもっとアピールできるような活動計画を組む」ことで一致し、正午すぎに散会した。

学級だより

勤労青年学級

私たちが学級では、年間学習計画に基づいて学んでいます。特に自治活動として「青年の山」の会事業には、大きく力をいれています。また、社会奉仕についても、来年はオリエンテリング等、自然の中に学ぶ計画を立てています。

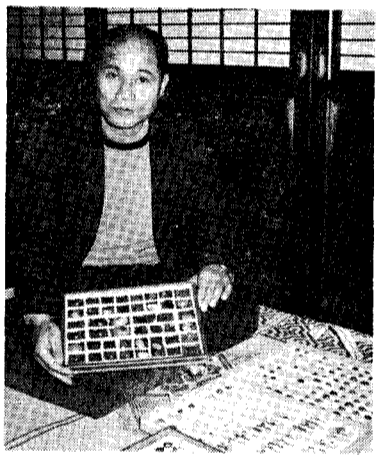
私製電話帳広告

公社の電話帳広告を切り抜き、料金請求書と共に、電話加入者に送りつけるという手口の私製電話帳の広告勧誘が他の局でもありました。このような手口のものには従来からありますが、充分気をつけてください。なお、このような業者としては日本電電公社、日本職業別広告協会は、電電公社とは無関係です。このような会社は、電電公社とは無関係です。ご注意ください。小須戸電報電話局

「さあどうぞ」と平問さんが、箱から出してみせてくれたのが、なんと六箱、宝石商にきたのではないかと驚いた。天ヶ沢の屋号看守人のご主人。勤務は新津農地事務所の運転手さん。この趣味を始めたきっかけは、「昭和四十二年ころ、胃をこわして医者に行き、タバコをやめろ」といわれたのが機会だといわれた。そこで指先が退屈しようがないし、テレビを見ながらでもできるし、作品の出

私の趣味II (その九) 石の芸術家

天ヶ沢 平間昭一さん



あるものではない。現在では道路がほとんど舗装になってしまいましたが、津川などは未舗装のところが多い。好きな人には好きなりにあつまるものが多い。津川へ石捜しに行くと、道沿に五色メノウを見つけたんです。

町民バレーボール大会終る

十四チームが熱戦を展開

さる十一月二十四日、町民体育館において、公民館主催の、第一回町民バレーボール大会が行われました。男子部は、女子部は、男子九チーム、女子五チームのトーナメント方式で、午前十時午後四時まで、白熱したゲーム展開が行われ、男子町長杯は、小須戸町バレーボールクラブ、女子公民館杯は、小須戸中学校女子バレー部が獲得。やはり、練習量の豊富さがものをいっただいところでしょう。今回の大会では、十四チーム中に、職場単位で参加したのはわずか三チームと寂しい気がしました。なお来年からは六人

- 制バレーを取り入れて、公民館主催の、第一回町民バレーボール大会の成績)
 - 男子部
 - 一位 バレークラブ
 - 二位 鎌倉青年OB
 - 三位 小須戸町役場
 - 女子部
 - 一位 中学女子バレー部
 - 二位 小須戸町役場
 - 三位 すみれチーム



中学校は花ざかりからもう六年になる。四季を問わず、色とりどりの花が美しく香りを漂わせているのも、温

が、その瞬間のうれしさはなんともいえない。か、口では表現できなかった。「さあどうぞ」と目をかがやかせた。石はメノウが一番多い。五色メノウ、ツマメノウ、黄玉メノウ、赤玉石、トラメ石等、珍らしいものもある。

年忘れ句会報

小須戸町俳句同好会

- 菊花展もろにかぶりぬわか雪
- 葱畑に長き人影日短か
- 初雪の最中取りこむ針かな
- 初霜や朝から大きく晴れ渡る
- 並べ干す靴さまさまに小春の日
- 句碑の辺訪う人もまれ落葉果つ
- 巳が食ふ柿などもぎて祖母達者
- 阿賀のダム紅葉映してゆるかなり
- 果樹冬木やぶれ袋のみ動く
- ゆく秋の蝶にまともれあきないり
- 菊審査半ばとなりて灯さるる

奈良にて

出雲町 我妻清作
時雨降る日のことさらに暮れはやく春日
奥山の紅葉みぬまに

オリエンテーリング

小柳浩平殿 佐藤太加志殿
日頃青年学級、青年団の活動に深くご理解とご援助を賜うたこと、誠にありがとうございました。お二人から、今般、標記の備品一式(七万四千円相当)のご寄贈がございました。方向を定めて山道を歩かすというゲームに使う特殊な機器であります。今後これを十分に活用して、若者達に新しい、身鍛錬の道を開いていきたいと思います。

図書のご寄附

新潟市の加藤国一郎氏より、新潟県の歴史散歩という本をご寄附いただきました。本当にありがとうございます。

編集部だより

次号より新企画
編集部では、次号より新しい企画を多く取り入れ、皆さんの「館報」をより充実したものにしたいと思っております。皆さんの投稿をお待ちしております。

文芸欄
詩・俳句・短歌・作文など、気軽に寄せてください。(一月号は正月・雪)